

調査班によるまとめ

創業者の声を 反映させた 支援メニュー

本ネットワークには、早期から創業支援に取り組み豊富な経験を有する金融機関が存在し、これが核になって多様な支援メニューが開発されていることや、そうしたメニューの一部を他の支援機関と共同で実施することによって、ネットワークとしての質的な向上を図っていることが特徴である。

この核となる地元金融機関・西京銀行が開発した具体的な支援メニューを一部紹介する。

①創業者掘り起こし

「創業フォーラム・創業セミナー」: 中小規模のセミナーを各地域で開催し、気軽に参加できる機会を提供することで創業者の掘り起こしを行っている。平成26年度は41回開催。

「S1グランプリ」: ソーシャルビジネスの実践者（創業を目指す方・創業された方）を対象にしたアイデアプランオーディションを開催し、創業者と支援企業とのマッチングなどをサポートしている。毎年30を超える団体が参加している

②創業時サポート

「実践創業塾」: 理念・ミッション、マーケティング、財務、商品開発・プレゼン、人材育成・組織、事業計画発表という6日間コースで構成している（第4期は7日間コースで開催）。毎回20～25名の受講者で開催、多くが創業を実現している

「ビジネスプランピッチコンテスト」:

創業前後の販路開拓・拡大、ビジネスパートナーとのマッチングの機会を提供し、創業時から創業後まで広くサポートすることになっている（平成27年度新設）

「インキュベーション施設」: 創業前後の事業者に対し施設提供を10年以上実施。市と共同で徳山駅ビル内（現在は銀南街商店街内）に設置

「創業補助金セミナー」: 申請書作成段階から提出までサポート。県内採択者のうち、平成25年度補正51.7%、平成26年度補正38.5%、平成27年度40.0%を支援

地域に創業支援の豊富な経験を持つ支援機関が存在する場合に、その支援機関が持つ知見を有効に活用することによって、ネットワークの創業支援活動の質的向上が図れることを、同市のネットワークの調査から学ぶことができた。